

BCG接種後の注意事項について

(BCGは、結核予防ワクチンです)

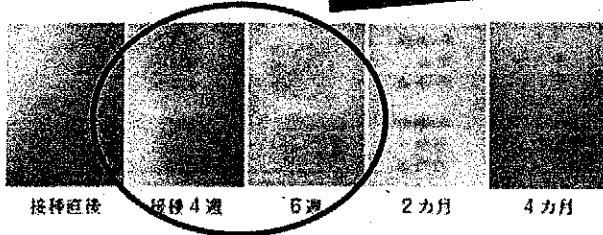


コッホ現象について
([尼崎市ホームページ](#))

●BCG 接種後の針あとの正常な経過

接種後10日～2週間すると、針のあとに一致して赤いポツポツが現れます。
この反応は、接種後4～6週間頃に最も強くなりますが、その後はかさぶたができて、
接種3～4カ月頃には瘢痕を残すだけになります。BCG 接種により免疫がついた証拠です。

接種後の一般的な経過



接種後7日以内に発赤、はれが出たら、接種医に受診！

針あとの写真をとる！

写真：公益財団法人結核予防会提供

●コッホ現象

すでに結核に感染している赤ちゃんにBCG 接種すると、通常より早く
(接種後7日以内、多くは3日以内)に接種部位に発赤、はれが強く起こることがあります。
これを、「コッホ現象」といい、結核に感染したサインです。

この変化(コッホ現象)に気づいたら、

- ① 2～3日以内に必ず接種医に受診してください。
- ② 接種後1週間目までは、毎日、スマートフォンなどで針あと部の写真を撮っておいてください。



兵庫県立尼崎総合医療センター小児科 中橋 達 先生

結核は昔の病気ではありません。

現在でも非常にまれですが結核にかかり、発見が遅れたため後遺症を残したり、命を落としたりしてしまうお子さんもいらっしゃいます。

BCGを打って数日以内に針あとが赤くはれた場合、この時点でお子さんが結核菌に感染している可能性が否定できません。仮に感染していてもすぐに対応すれば後遺症の心配はまずありませんので、接種7日以内(多くは3日以内)に針あとが赤くはれたら速やかにBCG接種した医療機関に相談してください。

<問い合わせ先> 尼崎市保健所 感染症対策担当

TEL: 06-4869-3008 FAX: 06-4869-3049